



✖ 福岡運輸株式会社

DX戦略

創業者精神を載せて、未来へ。

2022年11月1日

物流を通して社会のお役に立つ

～フロンティアスピリットを持つ総合物流企業～

福岡運輸株式会社は、昭和33年に日本で初めて機械式冷凍車を開発することで、「“定”温輸送」という新機軸を打ち出し、食の安心・安全と社会の発展に寄与してまいりました。

そして今、未曾有の物流危機が叫ばれる中で社会環境の変化や自然災害への対応、環境負荷軽減など物流の在り方も大きく変わろうとしています。

私達は、「社会のお役に立つ企業」として在り続けます。



創業者精神を載せて未来へ

弊社は1958年に「冷凍輸送は将来社会に必ず必要になる」「社会のお役に立つ企業でありたい」という信念で、日本では前例のなかった冷凍車の開発を進め、『国産第一号機械式冷凍車』を誕生させました。

この画期的な開発は物流業界の常識を一転し、その後の日本の食品物流を大きく変えた出来事です。

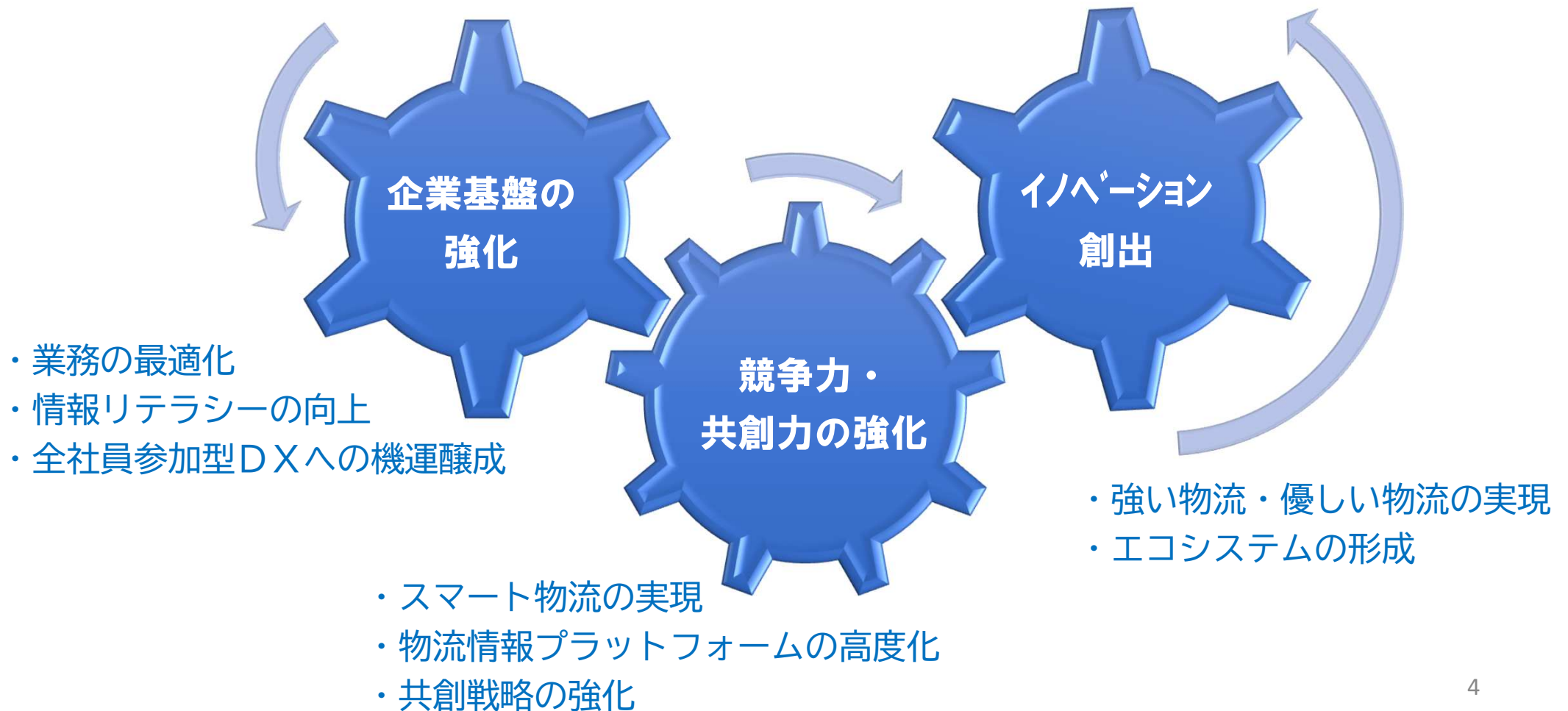
そして今、トラック物流業界はかつてないほどの大きな変革の時期を迎えています。

新たな時代においても、福岡運輸は創業者精神である「社会のお役に立ち、社会を良くする会社」として、人手不足や災害といった困難な状況を打破する「強い物流」と人や環境に「優しい物流」の実現を目指し、データとデジタル技術を活用した業務プロセスの変革と新たな付加価値の創出に取り組んでまいります。

2022年11月1日
代表取締役社長 富永泰輔

「物流」×「テクノロジー」でデジタル時代の新たな物流イノベーションを創出する

私達は、変化をチャンスと捉え、社会基盤の担い手として「社会を良くする企業」「社会に必要な仕事」を行動規範として、止まらない物流とイノベーションの創出を継続できる企業を目指します。

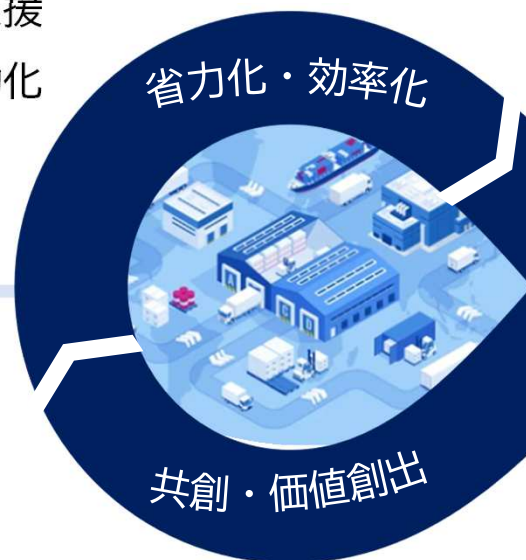


1. スマート物流による全体最適化の実現

単なるデジタルツールの導入やシステム化に留まらず、様々なデータ基盤やシステム基盤が双方向に連携し、物流に係る全てのプロセス・リソースを複合的かつ俯瞰的な視点で最適化することで持続可能な物流を実現します。

デジタルツールの積極活用

- ・ 物流業務のデジタル化
- ・ デジタルツールで業務支援
- ・ 情報収集の効率化・自動化



物流情報プラットフォームの高度化

- ・ 様々な機器・データ・プラットフォームと繋がる環境
- ・ データを軸にした新たなサービスの展開

繋がる仕組みの強化

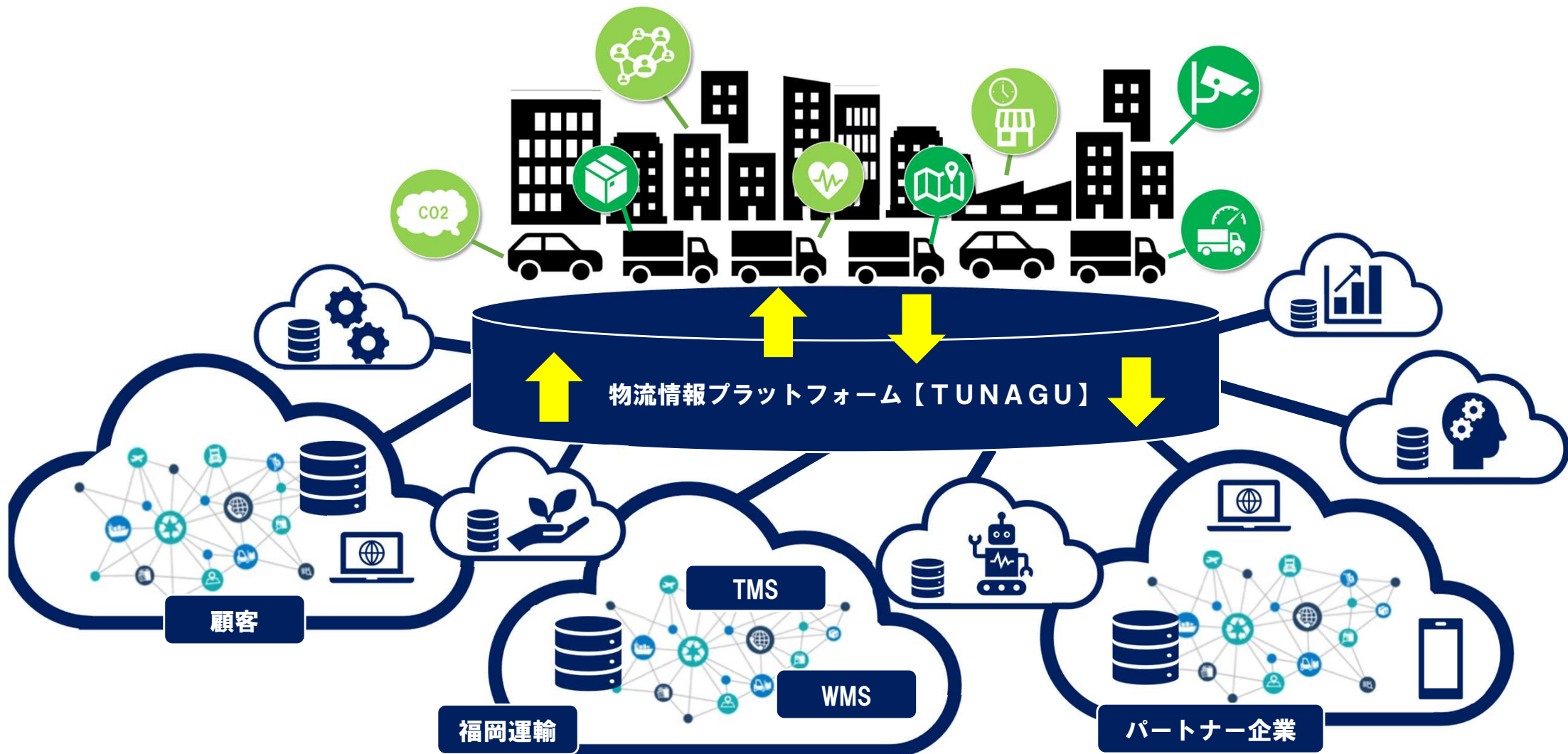
- ・ 人・モノ・システムを連携・見える化
- ・ 業務の効率化とオペレーションの最適化



デジタルテクノロジーの活用

- ・ AIやARの活用による業務効率化・オペレーション最適化
- ・ データ分析/活用基盤の構築、意思決定への活用

2. 物流情報プラットフォーム「TUNAGU」を中核とした付加価値創出



基本戦略

企業の垣根を越えて物流情報をシェアできる物流情報プラットフォーム「TUNAGU」を介して多種多様なデータ基盤やシステム基盤が連携することで、保有するデータを新たな資源として活用するビジネスモデルを実現します。

収集・蓄積

- ・プラットフォームに社内外のデータを集約・蓄積
- ・純度・粒度・多様性に富んだデータが活用できる環境を構築

可視化・加工

- ・利用者の特性やニーズに応じてデータを可視化
- ・データの戦略的活用と価値向上

共創・共有

- ・ノウハウ×テクノロジー×データ＝物流最適化・高度化
- ・双方向＋共有＋連携をキーワードに【共創】を積極化

付加価値創出

- ・強い物流・優しい物流の実現
- ・プラットフォームの協業や異業種との連携による高付加価値サービスを創出
- ・共創により提供者・利用者双方に付加価値を生み出し福岡運輸のファンを創出

3. DXを実現できる組織体制の構築と人材の育成

スマート物流の実現や物流情報プラットフォームを中核としたエコシステムを実現するために、DXを推進する組織体制の構築と人材の育成を図ります。

また、DXの種を自発的に提案し、企業全体で取り組んでいく企業風土の醸成を目指します。

組織改革・人材戦略

- ・ デジタル化前提の組織体制へ移行
- ・ 企業横断的な連携体制の構築
- ・ 多様な人材が活躍できる環境整備

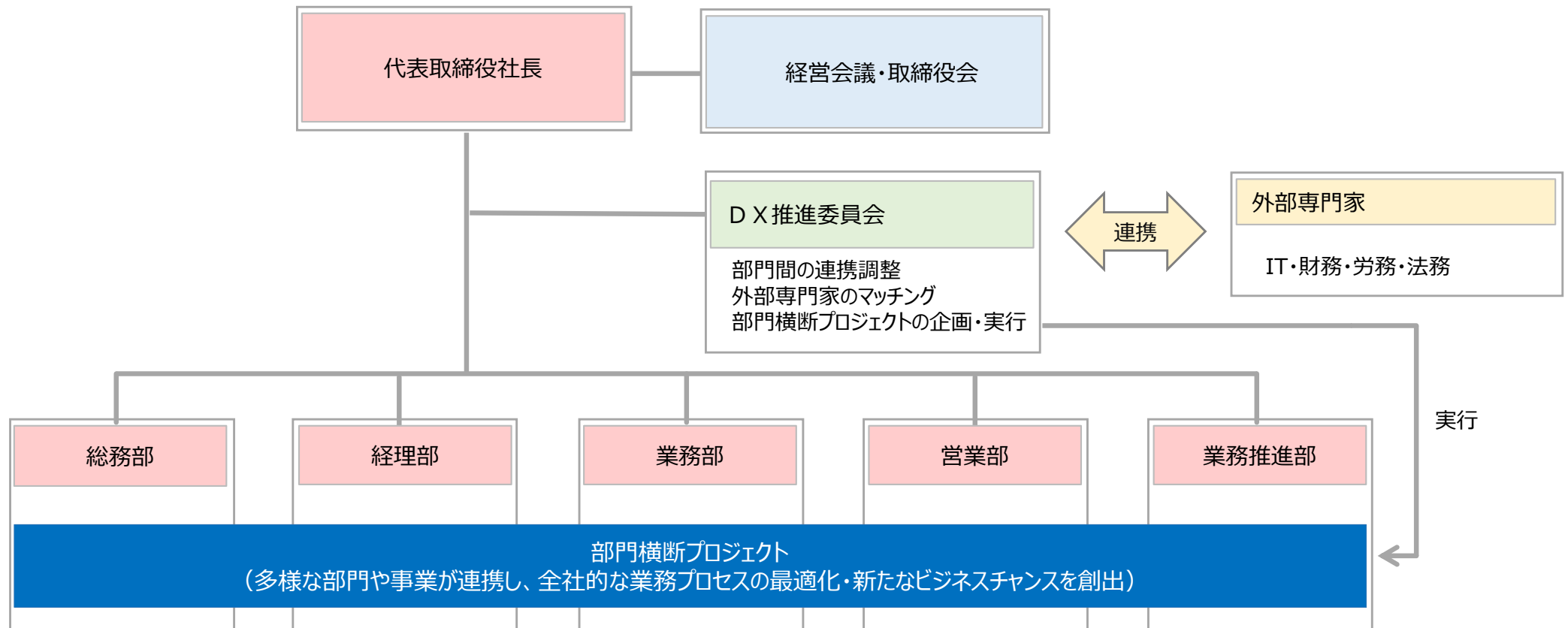
人材育成・機運醸成

- ・ DX構築人材やDX推進人材の育成
- ・ 全社員向け情報リテラシー向上教育
- ・ 全社員参加型DXへの機運醸成

DX戦略推進体制

全社横断の「DX推進委員会」を発足し、デジタルテクノロジーの調査・利活用の検討、課題解決に向けた取組みの推進を図ってまいります。

また、必要に応じてAI・ビッグデータ・IoT等のデジタル技術の他、財務、労務、法務等の外部専門家とも幅広く連携しながらDXを推進します。



DX関連投資額：売上げの0.6%相当額

経営ビジョンに沿ったDX戦略を達成するために、2022年度～2024年度にかけて毎年売上の0.6%をDX関連事案に投資予定です。

▶ 業務および支援ツールのデジタル化

▶ 基幹システムバージョンアップ

▶ 物流情報プラットフォーム「TUNAGU」の多角化・高度化

▶ セキュリティ・BCP対策

▶ デジタル人材の育成

DX推進指標(KPI)

重点取組み事項と3年後の目標値は以下の通りです。

1. 業務デジタル化 5件

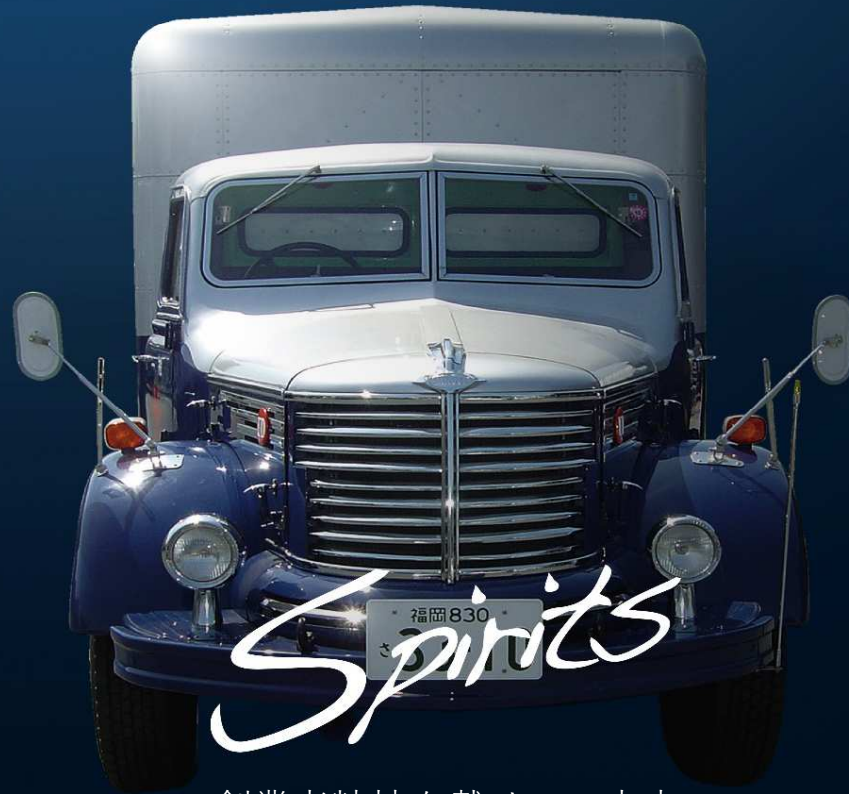
業務のデジタル化・可視化によるオペレーションの削減

2. TUNAGUとのデータ連携 5件

高付加価値サービスの創出、データの戦略的活用

3. 情報リテラシー研修 10回

階層・職種・部署・専門委員会での情報リテラシー研修開催



創業者精神を載せて、未来へ。

END